

# 平成21年度 事業計画書

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

2月の政府月例経済報告で景気の基調判断は「厳しい状況にある」と発表された。サブプライム問題とリーマン・ブラザーズの破綻による世界的な景気悪化は、日本経済にも影響を及ぼし、2月のGDPが第1次石油危機以来の歴史的なマイナス成長を記録するなど「戦後最悪不況」が現実味を帯びてきている状況にある。

このような背景から、本年度の新規企業の加入にはかつてない厳しい状況が予想されるが、事務局職員一丸となって加入促進に全力で取り組みたいと考えている。

本年度も福利厚生事業においては、会員ニーズを的確に捉え、さらなる助成事業の充実を図るとともに退職金等共済事業においては、引き続き事業の安全、安心、確実な運営に努めることとする。

また、昨年12月に法律が施行された新公益法人制度について、公益認定に向けた具体的検討を進めることとし、情報収集の強化及び調査研究に努めることとする。

## 重点的な取組み

- 会員加入活動
  - ・ 業界団体等との協力による加入促進
  - ・ 委託生命保険会社との連携強化
  - ・ 未加入企業等へのダイレクトメール発送
  - ・ ラジオスポットによるPR
  
- 福利厚生事業
  - ・ 助成事業の充実
  - ・ 指定施設の増設
  - ・ 融資あっせん貸付金利の引き下げ
  
- 退職金等共済事業
  - ・ 実績払い方式の導入
  - ・ 資金運用の安全性、安心性、確実性の確保と維持

## 1. 会員数、企業数の見通しについて

急激な景気の悪化により平成20年度の加入者数は3年ぶりに1万人の万台を割り込むことが予想されるため、年度末会員数は前年度より大きく下回ると見込まざるを得ない状況にある。

本年度も景気悪化の影響から市内中小企業の経営環境は極めて厳しい状況が続くものと思われ、大口退会も予想されることから、平成21年度の会員数は前年度末よりも大幅な減少を見込まざるを得ず、企業数で9,060社（対前年度比400社減）、会員数で73,355人（同3,300人減）と推計した。

## 2. 福利厚生事業

(1) 給付事業については、本年度も還暦祝金の申請件数の増加が見込まれることから、給付件数及び給付額ともにほぼ前年度当初予算並みの19,245件、269,450千円を計上した。

(2) 厚生事業については、多様化する会員ニーズに対応するため、既存事業の見直しを進め、時宜に応じた事業の提供に努め、利用促進を図っていく。

これにより、事業費としては、前年度当初予算額より約22,000千円減の150,820千円を計上したが、事業参加予定者総数は、ほぼ前年度当初計画並みの378千人を見込んだ。

(3) 融資あっせん事業については、市中金利の状況を踏まえ、3資金の貸付金利を一律、0.1%引き下げることとし、会員の利便を図る。

融資枠は、前年度当初計画より3,000千円増の73,000千円の原資をもとに131,160千円の融資枠を設定した。

## 3. 退職金等共済事業

(1) 退職積立金の安全、安心、確実な運用に努めるとともに「配当実績払い方式」を導入する。

(2) 退職掛金収入については、会員数の減等により、前年度予算より113,400千円減の4,123,400千円を計上した。一方、退会に伴う退職給付金支出は、退会者数の増と平均給付額の増により、前年度予算よりも1,131,600千円増の5,811,000千円を計上した。

(3) 退職給付積立金運用収入については、市中金利の状況を踏まえ、堅く見積もって前年度より14,700千円減の479,000千円を見込んだ。

◆会員等の推移

・会員の推移

(単位：人)

年 度	期首会員数	会員加入数	会員退会数	期末会員数	対前年増減
16年度	79,093	10,495	10,707	78,881	△ 212
17年度	78,881	9,627	10,805	77,703	△ 1,178
18年度	77,703	10,630	10,546	77,787	84
19年度	77,787	10,283	10,715	77,355	△ 432
20年度見込	77,355	9,600	10,300	76,655	△ 700
21年度見込	76,655	9,200	12,500	73,355	△ 3,300

・会員企業の推移

(単位：社)

年 度	期首企業数	加入企業数	退会企業数	期末企業数	対前年増減
16年度	10,550	421	647	10,324	△ 226
17年度	10,324	388	555	10,157	△ 167
18年度	10,157	354	589	9,922	△ 235
19年度	9,922	377	625	9,674	△ 262
20年度見込	9,674	430	644	9,460	△ 214
21年度見込	9,460	400	800	9,060	△ 400

◆福利厚生事業

(1) 慶弔金等贈呈事業

会員と家族の慶事等をお祝いし、また傷病、災害等に際し、お見舞い等をするため、慶弔金等贈呈事業を行う。

なお、贈呈金額は従前どおりとする。

贈呈項目	贈呈金額(1件あたり)	平成21年度贈呈見込件数	
① 成人祝金	5,000円	140 件	
② 結婚祝金	加入年数3年未満	20,000円	740 件
	〃 3年以上	30,000円	860 件
③ 出産祝金	20,000円	1,690 件	
④ 入学祝金	10,000円	3,620 件	
⑤ 永年勤続慰労金	勤続満 5年	5,000円	3,140 件
	〃 10年	10,000円	2,005 件
	〃 15年	15,000円	1,460 件
	〃 20年	20,000円	1,060 件
⑥ 還暦祝金	10,000円	1,510 件	
⑦ 銀婚・金婚祝金	銀婚	20,000円	590 件
	金婚	30,000円	40 件
⑧ 傷病見舞金	20,000円	760 件	
⑨ 災害見舞金	損害の程度に応じ 3段階の見舞金	(50,000円) (30,000円) (10,000円)	20 件
⑩ 死亡弔慰金	会員本人	50,000円	90 件
	会員の配偶者及び子	30,000円	1,310 件
	会員の父母	20,000円	100 件
	会員の配偶者の父母(同居)及び死産	10,000円	110 件
計		19,245 件	

(2) 厚生事業

会員と家族の余暇の充実、元気の回復、生活の安定等に役立つよう、次の厚生事業を行う。

① 健康づくりとスポーツ・レクリエーションへの参加を支援する事業

区分	事業名	平成21年度参加見込数
主催事業	野球大会 (80チーム)	1,600 人
	パークゴルフ大会	150 人
	ゴルフ大会	100 人
	ボウリング大会	130 人
	子供野球教室	100 人
	子供サッカー教室	120 人
入園料金等助成事業	円山動物園他道内70ヶ所のレク・娯楽施設の入園	126,060 人
	コンサドーレ・ファイターズ等スポーツ観戦	31,400 人
	市民マラソン等スポーツ大会参加	600 人
	スキーリフト使用・スキーパック (23ヶ所)	36,000 人
	スケートリンク入場 (4ヶ所)	100 人
	スイミング・スキー・ゴルフスクール (4ヶ所)	106 人
	スポーツクラブ入場 (2ヶ所)	39,000 人
	プール入場 (10ヶ所)	11,000 人
	ボウリング場入場 (6ヶ所)	10,000 人
	区民体育館等入場 (16ヶ所)	9,000 人
	ゴルフ場利用 (6ヶ所)	300 人
	パークゴルフ場利用 (13ヶ所)	8,000 人
	スポーツ奨励	100 人

② 旅行や文化・芸術・趣味等を通じて心身のリフレッシュを支援する事業

区分	事業名	平成21年度参加見込数
主催事業	ファミリーレクバス	1,560 人
	特選海外ツアー	80 人
	年忘れ演芸会	2,200 人
	ニューイヤークンサート	2,000 人
	親子ハイキング	100 人
料金等助成事業	国内旅行参加	9,900 人
	海外旅行参加	60 人
	指定保養施設等利用 (16ヶ所)	5,690 人
	映画館入場 (10ヶ所)	38,000 人
	観劇・音楽会・美術展入場	19,500 人
	テーブルマナー教室参加	170 人
	音楽・美術定期会員	130 人

③ 自己啓発や生涯学習の充実を支援する事業

区分	事業名	平成21年度参加見込数
受講料等助成事業	経営等セミナー	500 人
	生涯学習講座	380 人
	介護講座	20 人
	クッキングスクール	190 人
	ガーデニング講習会	150 人
	手工芸講習会	80 人

④ 健康の維持・増進を支援する事業

区分	事業名	平成21年度参加見込数
受診料助成事業	指定施設 (19ヶ所) による	
	定期健康診断 (I・II・IIIコース)	11,870 人
	人間ドック (1泊2日・日帰り・パブリックコース)	2,120 人
	部位ドック (大腸・骨・心臓・脳・肺ガン・乳ガン・子宮ガン)	350 人

⑤ 従業員及び経営者の永年勤続等表彰事業

区分	事業名	平成21年度参加見込数
主催事業	被表彰者 (30年・40年以上)	70人

⑥ 生活の安定・充実を支援する事業

ア. 融資あっせん事業

資金名	融資限度額	返済期間	融資利率(年利)	取扱金融機関
文化厚生資金	50万円	3年	1.6%	北洋銀行 北海道銀行
奨学資金	150万円	5年	1.4%	
マイカー購入資金	200万円	5年	1.98%	

※貸付時に別途保証料がかかる。

イ. 割引指定店

指定店数50業種、900店予定

⑦ 野球場の管理運営事業

会員用軟式野球場2面(厚別区山本、敷地面積:53,680㎡、駐車場を含む。)の管理運営を行う。なお、会員の未利用時には、市民に開放する。(利用見込数9,000人)

会員利用料金:半日2,000円

市民利用料金:半日3,000円